

滋賀県湖南市立岩根小学校の取り組み

《はじめに》

令和元年11月6日（水曜日）にコミュニティ・スクールの先進校である滋賀県湖南市立岩根小学校に視察に行ってきました。大変お忙しい中、岩根小学校の校長、湖南市教育研究所の所長（前岩根小学校長）、学校運営協議会の理事長、岩根の子どもの安全と安心を守る推進委員長からお話を伺いました。

岩根小学校は児童数215名、学級数13の小規模校です。学校は創立135年以上と歴史は古く、土砂崩れや火災等の災害を受けながらも地域に支えられながら歴史を刻んでいる学校です。校区は広く、中には徒歩50分から1時間かかる児童もいるそうです。校舎は3階建てで、木の香りがほのかに漂い子どもたちをやさしく包み込む雰囲気のある学校でした。

岩根小学校は平成17年度からコミュニティ・スクールを導入しています。

ここでは、岩根小学校が「地域とともにある学校」をめざしてコミュニティ・スクールを導入してから、学校と家庭・地域がどのように連携し、子どもたちを育てているのかをご紹介します。

1 岩根小学校のコミュニティ・スクールの基本理念

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置している学校）は、地域の公立学校の運営に地域の人々（保護者・地域住民等）の声を生かす仕組みです。

学校と地域の人々が目標を共有し、一体となって地域の子どもたちを育てていくことは、子どもたちの豊かな育ちを確保するとともに、そこに関わる大人たちの成長も促し、地域の絆を強め、地域づくりの担い手を育てていくことにもつながります。

こうした「地域とともにある学校づくり」を進めていくために、



- ☆ **学校と地域の人々が、みんなでよく考え、話し合っていくこと（熟議）**
- ☆ **同じ目標に向かって、一緒になって活動していくこと（協働）**
- ☆ **人をつなぎ、学校の組織としての力を引き出すこと（学校のマネジメント）**

以上の3点を重視しています。また、コミュニティ・スクールと岩根小学校の教育とのかかわりを理解していただくことを目的にコミュニティ便りを発行しています。

2 岩根小学校のコミュニティ・スクールのあゆみ

- (1) 平成17年度から、コミュニティ・スクールを導入しています
- (2) 「学校の荒れ」といった課題を共有し、改善に取り組みました。
- (3) 子ども数は減少傾向にありますが、多様化が進んでいることから「しんどい子ども、しんどい保護者、家庭」への支援の在り方を探っています。
- (4) 「細く、長く」を合言葉に「地域とともに創る学校」「地域の核となりうる学校づくり」を推進しています。

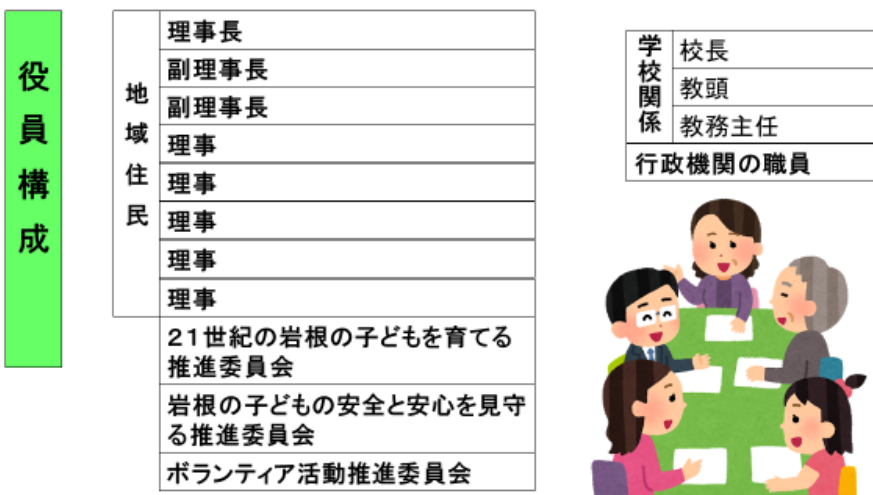
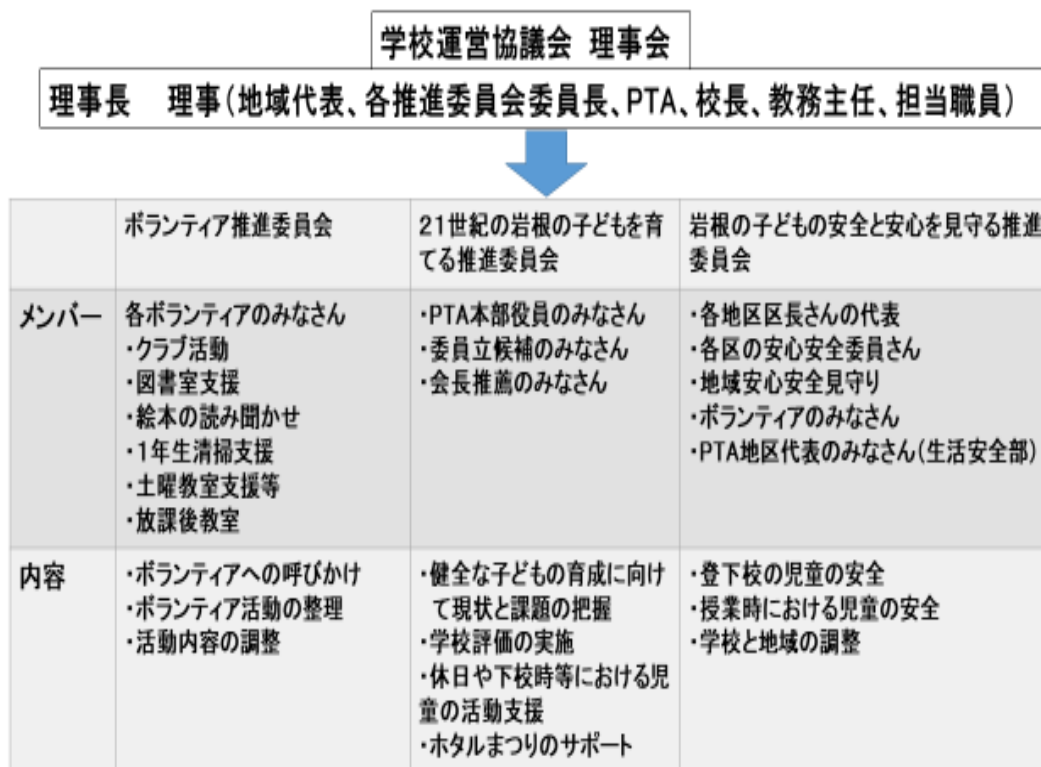
3 学校の荒れを克服した岩根小学校

岩根小学校の周辺は田園地帯で、地域では、古くから様々なコミュニティが形成されていました。一方学校は、13年前に工業団地が建設され、全国各地から多くの子どもたちが転入してくることで雰囲気が変わり、その変化に学校教育がついていけず、「学校の荒れ」に陥りました。その状況を脱するため、学校運営協議会で「子どもたちをお客さんにしない教育」を地域の方々とともに進めていこうと話し合い、学校と地域が課題等を共有しながら取り組みを進めました。

例えば、校内の掃除ボランティアの方には、掃除をするだけでなく、子どもたちに掃除の仕方を教えてコミュニケーションを取るなど、工夫をしていただくようお願いしています。一緒に掃除をしながら会話をしたり褒められたりすることで、子どもたちの自尊感情が高まり、子どもたちに変化が見られるようになりました。

「学校の荒れ」を直接指導するのではなく、子どもたちの気持ちに寄り添うことを大切にした「地域とともにある学校づくり」をめざして、子どもたちを育てています。

4 コミュニティ・スクール組織図



5 岩根小学校の学校運営協議会内の各委員会の取り組み

(1) 21世紀の岩根の子どもを育てる推進委員会

【目的】

- ① 次世代の岩根地域づくりを担う子どもたちを育てるために、子どもたちの今日的な教育課題を共有・協働し、課題解決の方策を探っています。
- ② 子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」を育て、岩根小学校の「コミュニティ・スクール」の推進に寄与しています。

【活動内容】

- ① 子どもたちの現状と課題を明らかにするための調査・研究・研修
- ② 地域が望む学校像・地域が望む教師像の探求と方策の検討・支援
- ③ 望まれる家庭像・望まれる児童像の探求と方策の検討・支援

【PTA活動との連携】

- ① 親子集団下校
- ② 地域別環境整備作業
- ③ 子育てPTA研修会
- ④ 親子活動
- ⑤ ひびきあい活動
- ⑥ 子どもたちの家庭生活改善と家庭学習の推進
- ⑦ あいさつ運動

(2) ボランティア推進委員会

【目的】

学校の内外を問わず、子どもたちの様々な活動の場において、子どもたちの安全や豊かな心・確かな学びをサポートしています。

【活動内容】

- ① 登下校や学習のいろいろな場面において、子どもたちの活動の支援
- ② 子どもたちが生き生きと活動するためのサポートの仕方について研究・研修
- ③ 子どもたちの活動の実態から、さらにサポートの必要な活動を見つめ直し、ボランティア人材の発掘
- ④ 人材バンクの作成と充実

(3) 岩根の子どもの安全と安心を守る推進委員会

【目的】

各区の関係組織並びにPTA・学校等の子どもたちの安全・安心にかかる関係機関が連携しています。岩根小学校区の子どもたちが地域で安全・安心な登下校や生活が過ごせるための活動を行っています。

【活動内容】

- ① 子どもたちが安全で安心な登下校ができるための課題や地域生活での現状と課題の明確化
- ② 子どもたちの安全で安心な地域生活を営むための取り組みと連絡・調整
- ③ 子どもたちが安全で安心して登下校するための取り組みと連絡・調整
- ④ 子どもたちの安全で安心な生活を保障するための研究・研修・情報発信

【まちづくり協議会との連携】

- ① 「まちづくりフェア」への参加
- ② 「岩根学区ふれあいサロン交流」
- ③ 「十二坊石みがき、門松づくり体験」
- ④ 「長期休みの学習会参加」
- ⑤ 「運動会の防災種目やホタルまつり共催」

6 具体的な取り組み

- ・お昼読み聞かせ ・クラブ活動支援 ・ホタル幼虫放流 ・田植え
- ・稲刈り ・店長修行 ・全校遠足引率、安全見守り ・岩根学習出前授業（3年）
- ・読み聞かせ（1年） ・清掃支援（1年） ・持久走大会の準備支援、安全見守り
- ・食育出前授業 ・土曜学習 ・ホタル学習出前授業 図書ボランティア
- ・夏休み学習会・防災 ・企業出前授業（3年） ・特別支援の個別支援
- ・放課後支援（自主学习、スポーツ） ・総合学習支援 ・生活相談
- ・環境支援（除草作業、選定作業、施設整備） ・スキー教室引率、指導補助
- ・思川の今と昔出前授業（4年） ・昔遊び（2年） ・高齢者とのふれあい体験（2年）

《おわりに》

尼崎市においては地域学校協働本部を設置し、地域学校協働活動推進員がコーディネートし、地域の方をつなぎ学校の支援を行っています。岩根小学校の学校運営協議会はさらに発展した形で、学校の目標やビジョンを共有し、その方針にそって、地域が子どもたちのために何ができるのかを話し合っています。

岩根小学校の学校運営協議会の方々は、学校運営に一定の権限を持つことで学校からお願いされて活動するのではなく、自ら当事者意識を持って活動しています。

一例として、毎年実施されている持久走大会について、学校運営協議会で「先生方はできるだけ子どもたちとともに行動し、指導にあたることで子供の成長につながるのではないかと。安全確認などは地域で協力できる。」といった声がありました。そこで、従来は先生で行っていたコース等の準備や安全見守りを『岩根の子どもたちの安全と安心を守る推進委員会』が担当し、先生は子どもたちと一緒に行動しました。その結果、先生は子どもたちの様子を観察しながら、活動に寄り添うことができるようになりました。地域の方も学校の運営や活動に参画することで学校への理解が深まり、課題や問題についても自分事として考えるようになったそうです。

尼崎市においても「地域とともにある学校」をめざし、目標や課題を共有し、同じ方向に向かって地域と学校で協働し、子どもたちを育てていきたいと思えます。